

～神奈川県からの  
| ターン～

## 佐藤さんへの インタビュー

広報まつさか

2019年8月号掲載

- 職業：自営業
- 家族構成：単身移住
- 移住歴：5年目



佐藤さんは5年前に松阪市へ移住して、中林町で「わタイ古式整体院」を営んでいます。人の縁等の『輪』を大切にしたいという思いからお店の名前を「わ」に決めたそう。

——松阪にきて良かったことはありますか？

松阪にはおいしい食べ物がたくさんあります。牛肉はもちろんですが、鶏肉や豚肉、新鮮な魚や野菜、おいしいものがいっぱいあります。休日は友達と食べ歩きをして楽しんでいます。

松阪の特産品である「いちじく」をお裾分けで頂いたんですが、今まで食べたことがなくて、食べ方も教えてもらって、今では実家にも送るようになりました。ここに来なければ一生食べることがなかったかも。こっちにきてなるべく市内のものを食べるようにしています。

——松阪にきて良くないことは？

今は車があるので、大丈夫ですが、老後の買い物や通院等の交通手段はとて不安です。

## 「移住先へ・・・一歩踏み出す」

——地域とのつながりはありますか？

お客さんの紹介で、今年4月に行われた「うれしのみくもフェス」に出店しました。

県外からの移住で、自分からどんな話かけすぎると相手もびっくりするかもしれないのでこういうイベント等でまず顔見知りになって、ちよつとずつ、ちよつとずつ繋がっていきたいです。そして、これからも自分ができる範囲で地域貢献をしたいと思っています。

——移住を考えている人へのメッセージをお願いします。

移住してすぐ「やりたい、変わりたい」と思い過ぎると、警戒されてしまうこともあると思うので、少しずつ、1～2年でということではなく、5～10年くらいかけて馴染めるようにしていけばいいかなと思います。

それと、移住先の地域の風習

や環境を理解することが重要なので、移住前に広報紙や地域情報誌等を取り寄せてみるのも良いと思います。ネットでは手に入らない情報が分かるかもしれません。

「もし合わなければ次の移住先を探せば良い」という気持ちで移住すれば、一歩が踏み出せるかもしれません。私自身一歩踏み出したことで、この場所に出会えました。

